

2014 年 10 月に神戸で開催された JDDW に参加し、日本消化器外科学会のパネルディスカッションを拝聴しました。発表形式はこれまでとは大きく異なり、司会者が発表者の内容を基に、テーマとなっている疾患の治療の現状と将来展望を、予め準備したスライドを用いて極めて明解にまとめられるとともに問題点も示され、演者間の討論時間も長く、非常に教育的なセッションでした。司会者の準備はさぞ大変であったことが推察されます。日本消化器外科学会はシンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップの定義と各セッションの進行方法の違いを明示され、来年度よりスライドはすべて英語となり、発表、討論も徐々に英語に移行されるようです。その予行演習(?)が今回の JDDW だったのかもしれませんが。日本消化器外科学会の変革が他の学会に波及することは十分予想されます。日本内視鏡外科学会も総会のあり方を検討する時期にきているのかもしれない。

地方会のあり方も検討されています。全国的な学会で研修医や若手の発表の機会が増えたことも一因なのか、地方会での演題数維持は大変困難となり、演題数維持のために同じ内容の演題が地方会と全国学会で発表されているのを目にします。経済的な支援を受けることも大変厳しくなり、参加費への依存度が増大し、演題数の維持イコール参加人数の確保が、いつのまにか究極の目的になっているようにも見えます。より有意義な会を開催するにはどうすればよいのか、様々なアイデアと成功例などの情報を共有できる方法がないものかと考えるこの頃です。

(坂井義治)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第 20 巻 第 1 号) 2015 年 1 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

(1 部) 定価: 本体 2,800 円 + 税 * 会員には毎号送付されます。

2015 年 年間購読料: 冊子版 16,380 円 + 税, 電子版/個人 16,380 円 + 税, 電子版/共有 18,840 円 + 税, 冊子 + 電子版/個人 19,380 円 + 税, 冊子 + 電子版/共有 21,840 円 + 税 (配送料: 医学書院負担) * 会員には冊子版が毎号送付され、学会ホームページから電子版が閲覧できます。

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 北野正剛)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 18 階

日本コンベンションサービス株式会社内

☎ 03-3503-5917 Fax 03-3508-1302 E-mail: jses@convention.co.jp (担当: 野上)

<http://www.jses.or.jp>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 18 F-1-4-2 Kasumigaseki, Chiyodaku

Tokyo, 100-0013, Japan ©2015, Printed in Japan

発 売: 株医学書院 (代表: 金原 優) (本誌担当: 水野, 安部) <http://www.igaku-shoin.co.jp/><http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 / E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 株文京メディカル ☎ 03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044)

・本誌に掲載する著作物の複製権、上映権、公衆送信権、翻訳・翻案権、二次的著作物利用権、譲渡権等は日本内視鏡外科学会が保有します。

・**JCOPY** (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物) 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

●原著

縦隔鏡を用いた食道癌根治手術を目指した Thiel 法固定献体での

検討東海林裕・他 東京医科歯科大学食道・一般外科学

●症例報告

右胃大網動脈を用いた冠狀動脈バイパス術後の早期胃癌に

対する腹腔鏡下幽門側胃切除術の 1 例中山鎮秀・他 九州大学大学院医学研究院臨床・腫瘍外科
腹腔鏡下に切除した大網原発 GIST の 1 例戸口景介・他 耳原総合病院外科
成人横隔膜弛緩症に対して胸腔鏡下横隔膜縫縮術を施行した 1 例町野隆介・他 長崎大学大学院腫瘍外科
直腸癌に対して子宮合併切除術を伴う腹腔鏡下

Hartmann 手術を行い経腔的に標本を摘出した 1 例真岸亜希子・他 佐久総合病院佐久医療センター消化器外科
腹腔鏡下ヘルニア修復術の腹膜閉鎖に用いた Barbed Suture

(有棘縫合糸) が術後癒着性イレウスをきたした 1 例黒河内喬範・他 東京慈恵会医科大学外科学講座
外傷性腹壁ヘルニアに対して腹腔鏡下ヘルニア修復術を施行した 1 例三上和久・他 石川勤労者医療協会城北病院
外科

●私の工夫

簡便・高画質・安価な内視鏡手術トレーニング用ドライボックス上田純二・他 佐賀大学一般・消化器外科

他数編の掲載を予定。但し誌面の都合により変更がございます。ご諒承ください。